【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和2年11月26日(2020.11.26)

【公表番号】特表2020-504597(P2020-504597A)
【公表日】令和2年2月13日(2020.2.13)
【年通号数】公開・登録公報2020-006
【出願番号】特願2019-520731(P2019-520731)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　16/28　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/13　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　5/10
Ｃ０７Ｋ　16/28　ＺＮＡ
Ｃ１２Ｎ　15/13

【手続補正書】
【提出日】令和2年10月15日(2020.10.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体のリン酸化を低減させる方法における使用のための、配列番号１および２にそれぞれ記述されたとおりの重鎖および軽鎖可変領域を含むモノクローナル抗ＣＤ６抗体を含む組成物であって、
方法は、宿主細胞を、配列番号１および２にそれぞれ記述されたとおりの重鎖および軽鎖可変領域を含むモノクローナル抗ＣＤ６抗体と接触させることを含み、ＣＤ６上のＤ１受容体へのモノクローナル抗ＣＤ６抗体の結合が、ＡＬＣＡＭとＣＤ６のＤ３受容体との相互作用にとっての立体障害を引き起こし、それによってＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体のＣＤ６受容体のリン酸化の低減を引き起こすものである、
前記組成物。
【請求項２】
モノクローナル抗ＣＤ６がイトリズマブである、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
ＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体のＣＤ６のリン酸化の低減が、ＺＡＰ７０とＳＬＰ－７６とのドッキングの低減をもまた引き起こす、請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
ＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体のＣＤ６受容体の、低減したリン酸化が、ホスファターゼＳＨＰ１およびＳＨＰ２の発現の低減を引き起こす、請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
宿主細胞がヒト対象におけるものである、請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
イトリズマブ抗体が、ＣＤ６へのＤ３でのＡＬＣＡＭの結合を阻害しないが、免疫シナプスでの立体障害に起因して、形成されたＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体の完全相互作用を阻害する、請求項２に記載の組成物。
【請求項７】

免疫シナプスでの立体障害に起因して、形成されたＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体の完全相互作用を阻害する方法における使用のための、配列番号１および２にそれぞれ記述されたとおりの重鎖および軽鎖可変領域を含むモノクローナル抗ＣＤ６抗体を含む組成物であって、
方法は、宿主細胞を、配列番号１および２にそれぞれ記述されたとおりの重鎖および軽鎖可変領域を含むモノクローナル抗ＣＤ６抗体と接触させることを含み、ＣＤ６上のＤ１受容体へのモノクローナル抗ＣＤ６抗体の結合は、ＡＬＣＡＭとＣＤ６のＤ３受容体との相互作用にとっての立体障害を引き起こし、それによってＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体のＣＤ６受容体のリン酸化の低減を引き起こすものである、
前記組成物。
【請求項８】
モノクローナル抗ＣＤ６がイトリズマブである、請求項７に記載の組成物。
【請求項９】
ＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体のＣＤ６のリン酸化の低減が、ＺＡＰ７０とＳＬＰ－７６とのドッキングの低減をもまた引き起こす、請求項７に記載の組成物。
【請求項１０】
ＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体のＣＤ６受容体の、低減したリン酸化が、ホスファターゼＳＨＰ１およびＳＨＰ２の発現の低減を引き起こす、請求項７に記載の組成物。
【請求項１１】
宿主細胞がヒト対象におけるものである、請求項７に記載の組成物。
【請求項１２】
イトリズマブ抗体が、ＣＤ６へのＤ３でのＡＬＣＡＭの結合を阻害しないが、免疫シナプスでの立体障害に起因して、形成されたＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体の完全相互作用を阻害する、請求項８に記載の組成物。
【請求項１３】
ホスファターゼＳＨＰ１およびＳＨＰ２の発現を阻害する方法における使用のための、配列番号１および２にそれぞれ記述されたとおりの重鎖および軽鎖可変領域を含むモノクローナル抗ＣＤ６抗体を含む組成物であって、
方法は、宿主細胞を、配列番号１および２にそれぞれ記述されたとおりの重鎖および軽鎖可変領域を含むモノクローナル抗ＣＤ６抗体と接触させることを含み、ＣＤ６上のＤ１受容体へのモノクローナル抗ＣＤ６抗体の結合が、ＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体のＣＤ６受容体のリン酸化の低減を引き起こし、それによってホスファターゼＳＨＰ１およびＳＨＰ２の発現を低減させるものである、
前記組成物。
【請求項１４】
モノクローナル抗ＣＤ６がイトリズマブである、請求項１３に記載の組成物。
【請求項１５】
ＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体のＣＤ６のリン酸化の低減が、ＺＡＰ７０とＳＬＰ－７６とのドッキングの低減をもまた引き起こす、請求項１３に記載の組成物。
【請求項１６】
宿主細胞がヒト対象におけるものである、請求項１３に記載の組成物。
【請求項１７】
イトリズマブ抗体が、ＣＤ６へのＤ３でのＡＬＣＡＭの結合を阻害しないが、免疫シナプスでの立体障害に起因して、形成されたＣＤ６－ＡＬＣＡＭ複合体の完全相互作用を阻害する、請求項１４に記載の組成物。